

# せいしょ ぼうけん ものがたり 聖書の冒険物語

だいごう  
第21号  
ねんがつにち  
2022年8月19日

## さぎし すく 詐欺師の救い

こども  
子供のための、ルカによる福音書第19章1-10節

せけんいっばん かんが はん  
世間一般の考えに反して、イエスは  
とみ も ほんたい  
富を持つことに反対しておられた  
わけではない。富を持つ人がそれを  
よもくてき つか  
良い目的に使うなら、なおのことだ。  
こんにち しゆだい かん せいしょ  
今日、富という主題に関して聖書に  
か かい  
書かれていることと言えば、自分の  
富を貧しい者達と分かち合うように  
とイエスにさとされたが、悲しみな  
がら立ち去ってしまった若い役人の  
はなし おも ひと おお  
話しか思いつかない人が多い<sup>1</sup>が、  
エリコのある裕福なビジネスマンと  
イエスの出会いについて、聞いたこ  
とはあるだろうか？

エリコのまち い か おおぜい けんしん  
の町を歩き交う大勢の献身  
てき ひとびと くら  
的な人々に比べると、ザアカイは非  
じょう ひょうばん わる じんぶつ おおがね も  
常に評判の悪い人物だった。大金持  
ちの取税人と言えば、ユダヤ人と  
つみびと なか  
っては罪人の中の罪人だった。取税  
人は、貧しい者から搾取し、奪い取

ることでよく知られていたからだ。  
ひとびと きら せいふ はたら  
人々が嫌うローマ政府のために働き  
ながら、自分でもピンはねして懐を  
肥やしていたために、ユダヤ人の裏  
ぎ もの み  
切り者として見られていたのだった。

そんなある日、ザアカイの人生を  
か かわ  
変えてしまう出来事が起こった。ザ  
アカイはすでに、イエスのうわさを  
みみ  
耳にしていた。イエスが起こして  
いた多くの奇跡や、それにも増して  
ザアカイの興味を惹きつけたことは、  
イエスが罪人らの友であるという  
ひょうばん じじつ ご じしん  
評判だった。事実、イエス御自身の  
で し ひとり  
弟子の1人であるマタイは、取税人  
だったというではないか。

それでザアカイはずっと、この預  
げんしゃ だいく あ  
言者になった大工に会ってみたいと  
おも  
思っていたのだ。

「あんなに信心深い人が、私のよ  
うな人間の友になど、なれるのだろ  
うか？ この町の人達や祭司らは、  
私の名前を聞いただけでも、地面に  
つばを吐くくらいなのに？ イエス  
は、私の友になってくれるのだら  
うか？」 そんなことを、ザアカイは  
考えていた。

ザアカイには、自分の家族以外に、  
しん とも  
真の友というものがいなかった。真  
の満足感を得るためには、富だけ  
はだめだということにきづきはじめ、  
満たされない気持ちになっていた。  
りっば いえ  
立派な家があり、安定した地位もあ  
るのに、何か欠けている。それが  
何だか、ザアカイにはよく分からな  
かった。

そしてある日、イエスがエリコを

とお  
通りがかった。イエスが町にいと  
き しゆげい  
聞いたザアカイは、そそくさと取税  
しよ し ひとめ み  
所を閉め、イエスを一目見ようと出  
かけて行った。イエスをとりかこむ群  
しゅう  
衆が、ゆっくりと道を進んでいた。

ところが、あわれなザアカイは背が  
ひくす なに み ゆ  
低過ぎて、何も見えない。群衆の行  
て おお  
く手に大きなイチジク桑の木がある  
のを見つけると、周りの人達にどう  
おも  
思われようがお構いなしに、急いで  
さき い  
先に行き、イエスを見るために  
木によじ登った。

イエスはイチジク桑の木の下に  
く た ども ふ む  
来ると、立ち止まり、振り向いて、  
うえ み あ  
上を見上げられた。

「ザアカイよ！ 下りて来なさい。今  
ばん  
晩は、あなたの家に泊まることにし  
ているから！」と、イエスが言われた。

ザアカイは、びっくり仰天した！  
どうしてイエスが自分の名前を知っているのだろうか？ そればかりか、自分の家に泊まりたいだなんて！  
ザアカイはすぐさま木から下りてきたが、何かの間違いでないかと、信じられない気持ちだった。イエスが本気でそう言うておられることが分ると、ザアカイは大喜びで、イエスを自分の家に案内した。

家に着くと、後をついて来ていた群衆は家の外で憤慨していた。「一体、どういうことなんだ？ 罪人の客になるなんて！ イエスともあるう方が、宗教訓練の中心地である我々の立派な町に来られたのに、こんなろくでなしの家に泊まることにされたなんて？」

ところが、イエスはザアカイの心を見ておられた。ザアカイは、愛と理解と受け入れてもらえることに飢えていたのだった。

ザアカイは、宣言して言った。

「主よ、私は自分の全財産の半分を、貧しい人達に施す決心をしました。そして、自分の地位を利用してだまし取ったりした人達には、それを4倍にして返すことをお約束します。」

今まで利己的で贅沢な暮らしをしていた人が、イエスと出会い、イエスの語られる言葉を聞いて、劇的な変貌を遂げた。イエスとたった1度会っただけで、ザアカイは、富とは、他の人達と分け合わなければ無意味なものだということを知ったのだ。生まれて初めて、ザアカイは、愛や与えることの意味が分かったように感じたのだった。

イエスは、外でぶつぶつ言っている人達に聞こえるように、大声で言った。「今日、この家に救いが来た。ひとりの子が来たのは、失われたものをさがだすく探し出して救うためである！」

ザアカイが以前どれほど悪かったかは、関係なかった。神の愛は、ザアカイをゆるすに余りあるものだった。

た。この出来事から、ザアカイの新しい人生が始まった。もはや、ザアカイは周りの人々や世界に無関心ではなくなり、自分の利益を得るための機会として人々を利用するのではなく、自分の富を貧しい者達のために役立てるようになった。ザアカイは、与えることで満足感が得られることを発見したのだった。ザアカイは、イエスのこの言葉が真実であ

ることを知った。「与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう。人々はおし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量をよくして、あなたがたのふところに入れてくれるであろう！」<sup>2</sup>

脚注：

- 1 ルカによる福音書 18:18-25参照
- 2 ルカによる福音書 6:38

